



# ブルースケール試験(染色堅ろう度試験)

繊維製品や印刷物などの、紫外線に対する染色堅ろう度(変退色に対する強さ)を評価いたします。

## 染色堅ろう度評価

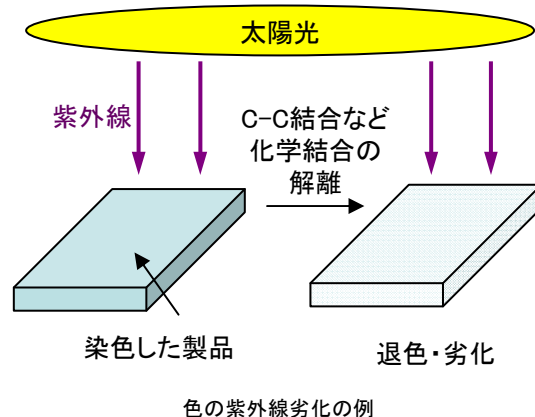
染色した繊維製品や印刷物は、太陽光などの紫外線が当たることにより変退色し、品質劣化を起こします。しかし、再現試験を行っても、太陽光の強さは季節や天候によって変化するため、試験毎に再現性のある結果を得ることは困難です。

そこで変退色の等級判定に用いる標準青色染布(ブルースケール)を用いて、変退色に対する影響度を一定化します。

暴露試験やサンシャインウェザーメーター、キセノンウェザーメーター等の試験機を用い、サンプルとブルースケールを一緒に露光し、ブルースケールを一定のレベルまで退色させます。この時のブルースケールとサンプルの退色度合いを比較することにより、染色堅ろう度を評価します。海外でもこの評価方法がよく用いられています。

本評価は、以下のJISに規定されている方法に準じて行います。

- JIS L 0841 日光に対する染色堅ろう度試験方法
- JIS L 0842 紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法
- JIS L 0843 キセノンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法



## 染色堅ろう度評価試験方法

### ● 試験方法

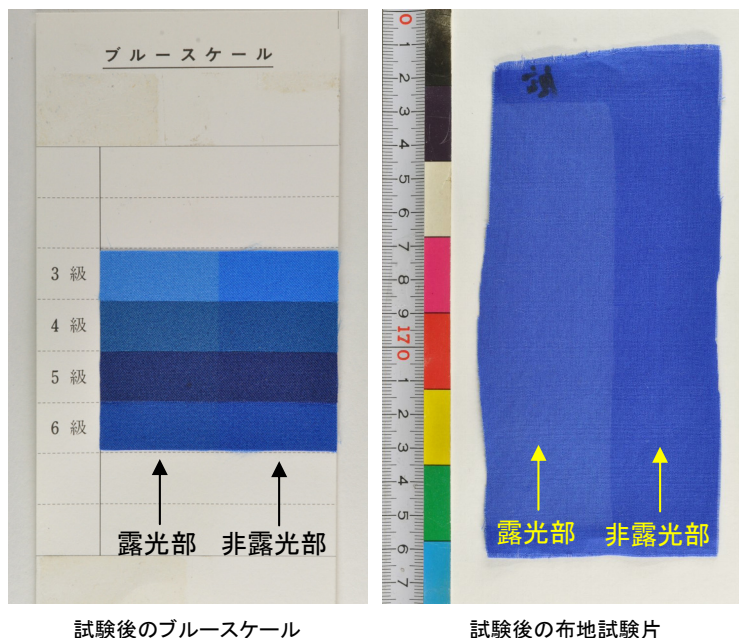
- ① 試験片とブルースケールを耐候性試験機に入れます。その際、一部はカバーをして非露光部となるようにします。
- ② 一定時間露光後、試験片とブルースケールを取り出し、露光部と非露光部の退色の程度を確認します。退色の程度は基準のグレースケールを用いて目視で確認します。
- ③ ブルースケールが4級(他の等級でもよい)の退色となるまで露光を続けます。
- ④ この時の試験片の退色度合い(等級)を判定します。

### ● 試験結果の例 (右写真)

【サンプル】 布地試験片

【試験条件】 試験機:キセノンウェザーメーター  
ブラックパネル(BP)温度:63℃  
相対湿度:50%  
照度:60W

【評価結果】 サンプル試験片の堅ろう度は4級と判定



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2014 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。